

平成 30 年度 第 2 回磐田市多文化共生社会推進協議会 摘録

日 時	平成 30 年 12 月 19 日 (水) 午後 7 時 00 分～9 時 00 分
場 所	磐田市役所本庁舎 1 階 第 1 会議室
出席委員	池上 重弘会長、水野 勲委員、藤田 允委員、高塚 勝久委員、伊藤 孝委員、村上ナオキ委員、鈴木 グレッゼン委員、森下 雅仁委員
事 務 局	地域づくり応援課長補佐、職員 3 人
オブザーバー	学校教育課 田中 多文化交流センター 1 名 杉田 竜洋交流センター長 大見

[会議内容]

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項「外国人就労に関すること」
 - (1) 静岡産業大学留学生の取組 (資料 1)
 - (2) 技能実習生の取組 (掛塚祭り) (資料 2)
 - (3) 外国人情報窓口の取組 (資料 3)
 - (4) 意見交換
- 4 閉会

[会議概要摘録]

- 今後の法改正で、特定技能として受け入れが拡充されるが、外国人の増加がどれほど見込まれるかは疑問。
- 日本語教室は多文化共生にとって必要なことである。
- 留学生が特定技能で入ってくる人に、日本語教室の先生となって実施する可能性はあるか。
- 企業側の後押し、協力で地域の活動に参加を促す。
- 外国人住民との接点はまず「あいさつ」からはじめる。
- 商工会議所を活用し、派遣労働者を受け入れている企業に対し、地域でのイベントや防災訓練などの活動に参加が行えるか検討。また、派遣企業とのキャリア形成に繋がる仕組みを検討する。
- 地域で、顔の繋がる関係をどう作るかが大事、基本は人と人との関係を忘れずに、日本の社会においては、日本人から一歩踏み出すきっかけがあるとよい。